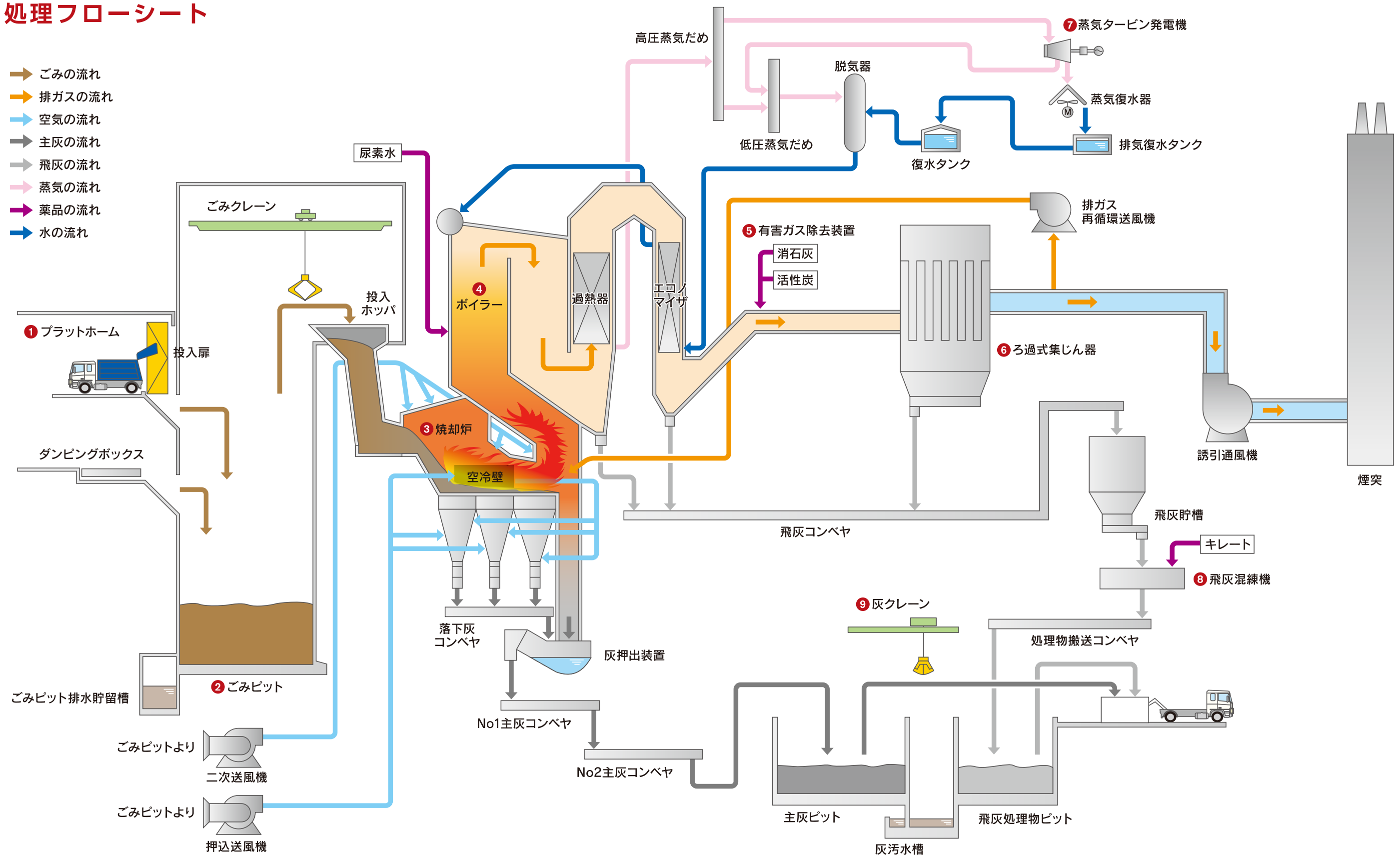


処理フローシート



ごみの流れ

ごみは計量後、フラットホームからごみピットに投入されます。ごみピット内のごみは、ごみクレーンで攪拌し均質化した後、ごみホッパへ投入され、給じん装置により焼却炉内に送り込まれます。炉内のごみは、ストーカ上を移動させながら焼却し、灰になります。炉内は850℃以上の高温状態になっているため、ごみは完全燃焼します。

排ガスの流れ

焼却炉で発生した排ガスは、ボイラー、過熱器、エコマイザで冷やされます。その後、有害ガス除去装置から薬剤を吹き込まれ、ろ過式集じん器で有害物質を取り除かれ、きれいなガスとなって煙突から出ていきます。

空気の流れ

燃焼用の空気は、ごみピット上部から押込送風機により焼却炉内に送られます。この時ごみピット内の臭気も一緒に炉内送られ、完全燃焼することで分解されます。

主灰・飛灰の流れ

焼却後の主灰は、水で冷やされ主灰ピットに貯められた後、場外に持ち出されます。また、ろ過式集じん器で捉えた飛灰は、混練機で薬剤処理後、飛灰処理物ピットに貯められた後、場外に持ち出されます。

蒸気の流れ ———— 水の流れ —

ぐみを燃やした熱を利用しボイラーで発生した蒸気は、過熱器でさらに高温、高圧になり、蒸気タービンに送り込まれます。タービンは発電機を回転させ最大3,100kWの電力を作り出します。この電力で施設内で使用する電気をすべて賄い、余った分は電力会社に売電します。一方、役目を終えた蒸気は、復水器を通して水に戻り、再びボイラーに送り込まれます。